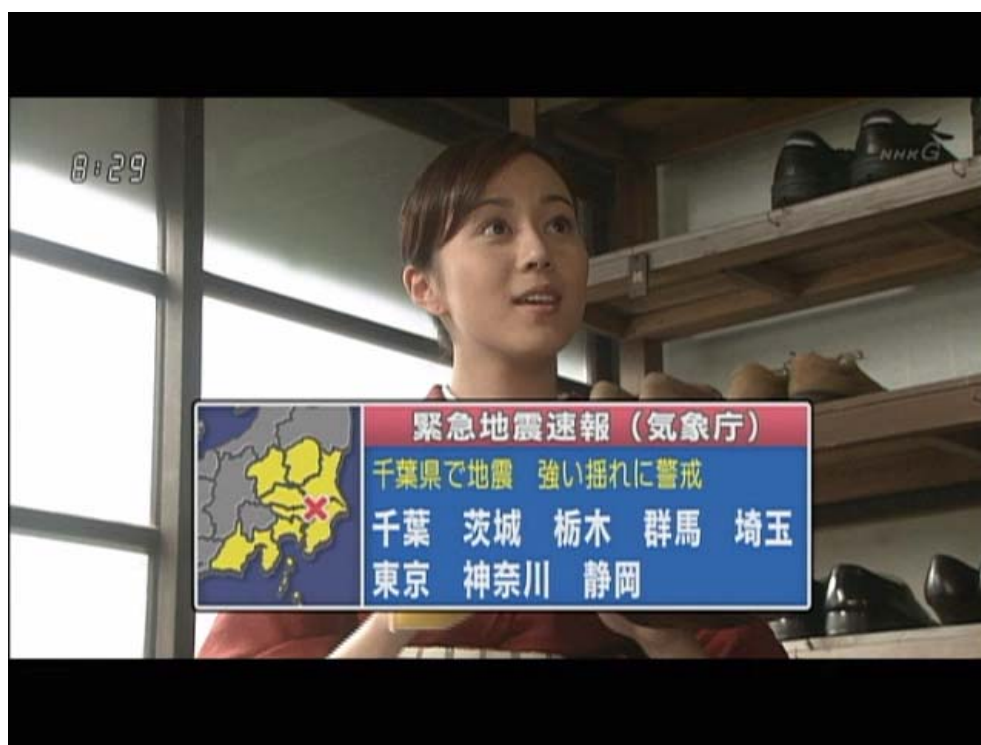


緊急地震速報 NHKの放送について

地震の発生を、強い揺れが来る前に知らせる気象庁の緊急地震速報が、この秋にスタートします。

震源近くで最初の小さな揺れをとらえ地震の規模や各地の震度を予測、大きな揺れの始まる数秒から数十秒前に発表するもので、防災・減災に役立つことが期待されています。

NHKとしては、気象庁が広く一般に向けて緊急地震速報の発表を開始する日から、基本的に以下のような内容で放送する方針です。



速報画面イメージ

放送形式

- 全ての放送波で速報（全国放送）。
- テレビはスーパー（地図付き、1画面で表記）、ラジオは放送を中断して音声で速報。

放送内容

- 気象庁が発表する最大震度5弱以上が推定される地震
- テレビ（別紙）
 - ： 緊急地震速報のタイトル、地震が起きた場所、強い揺れへの警戒呼びかけ、強い揺れの対象地域
- ラジオ： 基本的にテレビと同内容
- テレビとラジオいずれも緊急地震速報用に独自制作のチャイム音使用。

開始時期

- テレビとラジオは同時スタート

新しい防災情報である緊急地震速報は、強い揺れが来るまでにわずかの時間であり、直下型地震では間に合わないことがあるなどの限界があると気象庁も説明しています。気象庁の緊急地震速報に関連した検討会でも、国民に周知が徹底されないと、無用の混乱が発生する懸念もあると指摘されています。

NHKとしても緊急地震速報の周知・広報が最重要の課題と考えており、国の中央防災会議等でもこれまで政府に対して周知活動を求めてきました。

NHKも公共放送として、国の指定公共機関として、国民の生命・財産を守る立場から、気象庁が情報の提供を始めるに先立って、緊急地震速報に関する情報をPRの放送枠で伝えたり、緊急地震速報をめぐる様々な動きを必要に応じてニュース番組で放送したりすることを考えています。

こうした放送は、緊急地震速報の提供がスタートした後も継続することになっています。

NHKとしては、万全の態勢で放送できるように東京をはじめ全国の放送局でシステムの構築、改修、さらにテストを現在進めています。

（関連番組）

「緊急地震速報を減災につなげろ！」

放送：8月6日ラジオ第1 午後9：05～9：55

緊急地震速報を「いつ」「どこで」「何をしている時に」受け取るかによって、取るべき行動が変わってくる。この速報を活用するための各地の取り組み事例をレポートしながら、速報システムをいかに減災につなげていくかを考える。